

一人一人の生徒が、自分の考えを持って主体的に学習し、社会的資質を向上させていくことに、提案型発問（提案や行動に結びつくような発問）にもとづく話し合い学習が効果的であるか、ご覧ください。

社会科（地理的分野）学習指導案

日 時 平成 19 年 11 月 13 日（火）第 2 校時
場 所 八代市立千丁中学校 2 年 1 組教室
年 組 八代市立千丁中学校 2 年 1 組
男子 15 名 女子 16 名 計 31 名
指導者 八代市立千丁中学校 教諭 緒 方 彰

1 単元名 「世界と日本の産業」（教育出版 p 1 4 8 ~ 1 6 7）

2 単元について

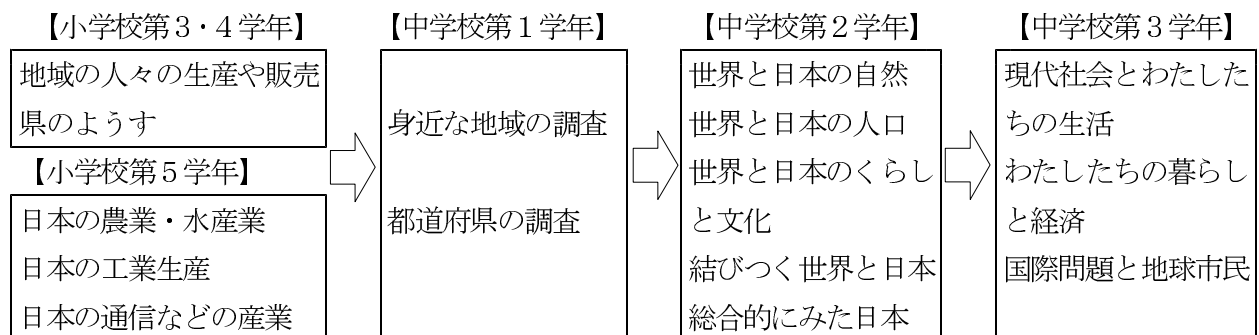
(1) 単元観

本単元は、我が国の地域的特色を資源や産業の面から追究し、理解させることを主なねらいとしている。すなわち、世界的視野から日本を一つの地域として追究することにより、また、日本全体の視野から大まかな国内の地域差を追究することにより、我が国の国土の特色をとらえさせるとともに、地域間を比較し関連付けて地域的特色を明らかにする視点や方法を身に付けさせることをねらいとしている。

八代地域は、産業面では、古くから農業と工業の二つの産業を柱に栄えてきた地域である。特にいぐさは、面積・生産量とも八代地域が全国の約 9 割を占め、ほぼ国内唯一の産地となっている。生産されたいぐさのほとんどがいぐさ栽培農家によって畳表に加工され、全国各地に出荷されている。

しかし、いぐさ・畳表を中心とするいぐさ産業は、栽培面積・農家戸数とも年々減少する状況にある。変容していく地場産業を本単元で学習することにより、現状認識を深め、社会的資質を高めるとともに、資源や産業から見た日本の地域的特色をより身近なものとして理解していくための糸口としていきたい。

(2) 系統観



小学校では、地域の人々の生産や販売や県の様子、我が国の産業について学習している。中学校 1 学年では身近な地域の調査および都道府県の調査で産業の発展等の地理的

事象を見いだして、地域的特色をとらえる学習をしている。中学校3学年では現代日本の発展過程と国際化の進展のあらまし、経済活動の意義や市場経済の基本的な考え方、地球環境、資源・エネルギー問題について学習する。

(3) 生徒観

生徒は素直で男女の仲もよく学習へ真面目に取り組む姿勢がある。日常生活の中で起こる社会的事象に、社会科で学習したことがらを重ねるなど、社会科の学習に興味・関心を持っている生徒もみられる。授業においては、積極的に調査したり、発言したりする生徒がおり、学習をリードしている。

〔事前アンケート〕 調査人数 31名

- | | |
|---|-------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | あなたは社会科の学習に興味がありますか？ |
| | かなりある 4人 まあまあある 24人 あまりない 2人 まったくない 1人 |
| 2 | あなたは、身の周りの生活や、テレビのニュースや新聞記事から、社会科で学習したことがらを実感したり、家族と話題にすることはありますか？ |
| | かなりある 5人 まあまあある 15人 あまりない 10人 まったくない 1人 |
| 3 | あなたは、日ごろ、身のまわりで行われている産業活動（農林水産業・工業・商業など）に興味を持って目を向けることはありますか？ |
| | かなりある 0人 まあまあある 5人 あまりない 22人 まったくない 4人 |
| 4 | 八代地域で盛んな産業は何ですか？ |
| | 農林水産業 18人 工業 8人 商業 5人 |
| 5 | 八代地域（旧八代郡および旧八代市）でさかんに生産されている農産物は何ですか？（複数回答） |
| | トマト 25人 いぐさ 20人 メロン 19人 ばんぺいゆ 8人
みかん 5人 すいか 5人 たばこ 2人
米・茶・れんこん・ぎぼん・わさび 各1人 |
| 6 | いぐさ生産にとまなう課題はありますか？ |
| | ある 2人 ない 3人 わからない 26人 |

(4) 指導観

身近な八代地域のいぐさ産業を取り上げることにより、単元全体への興味・関心を高めさせたい。指導にあたっては、生徒の確かな学びを実現するために具体性や意外性のある教材の開発に努めたい。また、提案や行動に結びつくような発問による話し合い活動の取り組みをとおして、現状認識を深めさせるとともに、社会的資質を育みたい。

3 単元の目標

【確かな意欲】

日本全体の視野から見た国内の諸地域の特色や課題を、資源や産業の観点から意欲的に追究させる。

【確かな知識】

世界や日本の産業や資源に関連する内容についての知識を持ち、世界や日本の産業および資源の現状や課題を理解させる。

【確かな判断】

日本全体の視野から見た国内の諸地域の特色や課題を資源や産業の観点から傾向性や類似性に着目して考察・判断させる。

【資料活用の技能・表現】

世界や日本の産業や資源に関連する事項を資料から読み取り，有用な情報を適切に選択，活用させる。

4 単元の指導計画（11時間取り扱い）

過程	次	時	主な学習活動	評価
つかむ	1	1	日本の農林水産業の現状をとらえる。	日本の農業や水産業に関心を持ち，盛んな地域を意欲的に調べようとしている。 （観察法）【関心・意欲・態度】
		1	日本の農業の変化やその背景，課題克服への取り組みを考える。	日本の農業の変化と課題を，国際社会のなかに生きる日本の視点から考察している。（ワークシート）【思考・判断】
	2	1	いぐさと畳のよさを探り，その生産過程を考える。	いぐさ・畳のよさに気づき，生産過程を理解している。 （観察法）【知識・理解】
		1	いぐさ産業に携わる方々の工夫，努力を知るとともに，いぐさ産業の抱える課題について考える。	いぐさ・畳表の生産に携わる人々の工夫，努力に気づき，資料からいぐさ産業の抱える課題を読み取ることができる。 （ワークシート）【技能・表現】
イメージする 再構成する	1	いぐさ産業の振興を図るための方策について考え，提案する。	いぐさ産業振興のための方策について自分の考えを持つことができる。 （観察法・ワークシート）【思考・判断】	
定着させる ふくらませる	3	1	日本の資源・エネルギーの現状と課題について考える。	日本は資源を輸入に頼っていることに気づき，消費のあり方について考えようとする。（観察法）【関心・意欲・態度】
		1	日本の工業の特色を考える。	日本の工業の中心が太平洋沿いに形成されている理由を考察している。 （ワークシート）【思考・判断】
		1	地域に根ざした産業の特色や課題について考える。	地場産業の内容や課題について理解している。（ワークシート）【知識・理解】
	4	1	第三次産業の発達・変化について理解する。	身の回りの第三次産業に，どのような活動や工夫があるか，意欲的に考えようとする。（観察法）【関心・意欲・態度】
		1	情報化が社会に与える影響について考える。	情報化が社会にもたらす変化を考察している。（ワークシート）【思考・判断】
5	1	さまざまな環境問題と自分たちの生活パターンとのつながりを考える。	現代の生活パターンが，環境問題に深くつながっていることを理解している。 （ワークシート）【知識・理解】	

5 本時の学習

(1) 本時の目標

- いぐさ産業振興の方策について自分の考えを持つことができる。
- 地場産業への興味関心を高めることができる。

(2) 本時の展開

過程	時間	主な学習活動	教師の指導と支援 (予想される生徒の反応)	その他 教材・資料等	
導入	3	1 いぐさ製品の実物にふれる。 【一斉】	○いぐさ産業に関わる人々により、多様な製品作りが実際に行われていることを知らせ、本時の学習への関心を高める。	いぐさ製品	
展開	5	2 いぐさ栽培面積、栽培戸数の推移を表したグラフを見て、本時の学習課題を確認する。 【一斉】	○グラフをもとにいぐさ栽培の危機的な現状を確認させ、課題意識を持たせる。	グラフ	
		地元のいぐさ産業を盛り上げるためには、どうしたらよいか？			
	7	3 学習課題について考える。 ①考えてきた視点が同じ者同士で意見を練る。 【班別】	○4つの視点（いぐさ農家、畳店、いぐさ製品加工業、消費者）を設定し生徒1人につき1つの視点に立ち、事前に解決策を考えさせておく。	ワークシート 評価①	
	10	②視点が異なる者同士で意見を出し合い、解決策をカードにまとめる。 【班別】	○同じ視点で意見を練る際には、根拠を明確にすることを心がけさせる。 ○異なる視点の者同士で話し合う場合には、4つの視点から考えられた意見を総合してまとめさせる。	カード	
	10	③各班ごとにそれぞれの意見を発表する。 【一斉】	○発表後、各班のカードを黒板に掲示させる。		
	7	4 各班の発表に対するゲストティーチャーの話を聞く。 【一斉】	○各班の発表内容への講評とともに、いぐさ産業振興の取り組みについて話していただく。 ○各班の発表内容にみられない、新しい視点があれば、ふれていただく。	ゲストティーチャー	
	5	5 ゲストティーチャーの話をもとにして意見を再構成する。 【班別】	○掲示されていた各班のカードに書き足す形でまとめさせ、意見の変化がわかるようにする。 ○数班に発表させる。	カード	
まとめ	3	6 本時のまとめを行う。 【一斉】	○各班の意見をまとめたカードをもとに教師がまとめ、いぐさ産業の将来に展望をもたせる。	(事後-評価②)	

(3) 本時の評価

- ①いぐさ産業振興のための方策について自分の考えを持つことができたか。
(観察法・ワークシート)【思考・判断】
- ②地場産業への興味関心を高めることができたか。
(事後の感想記入用紙)【興味・関心】